

第21回医療薬学会年会 参加レポート

関本店 増田 稔

日 時：2011年10月1日（土）・2日（日）

場 所：神戸国際会議場・神戸国際展示場・神戸商工会議所会館・クオリティホテル神戸

感 想

医療薬学会年会は、今回初めて参加した。1日目は調剤・処方監査リスクマネジメント（口頭発表）、不眠治療における睡眠剤の役割と服薬指導（ランチョンセミナー）、ポスター閲覧。2日目は糖尿病（口頭発表）、痛風・高尿酸血症における薬物療法について（ランチョンセミナー）、ポスター閲覧、感染症診療の考え直しに関する講演等を見学させていただいた。

その中で一番印象に残っているのが、岩田健太郎教授の感染症診療の考え直し（教育講演）である。講演会場は、立ち見も出るほどの人気であった。

「過度の楽観も、過度の悲観も妥当な判断を導かない。」「ルールに乗っかっているだけで満足する、過度のコンプライアンス遵守主義は、プロとしての能力も、そして矜持も奪い去ってしまう。」といった言葉は、学会が終わった今でも心に残っている。

医療機器の展示では、日頃の業務では目にすることのない機器を拝見させていただき興味深かった。又、ランチョンセミナーの内容もとても充実しており、知識の再確認をすると同時に先生の興味深い話を聞くことが出来大変勉強になった。調剤・処方監査リスクマネジメントの内容に関しては、今後調剤過誤委員会の中で考慮し、業務の中で活かしていきたい。

薬局薬剤師として通常業務を行っているときと視野が狭くなりがちである。本学会に参加する事は良い刺激になったと思う。